

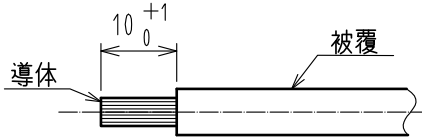
結線手順

1

下記寸法で端末加工を行います。

注意！端末加工の際、絶縁電線の被覆や導体部に傷がつかないようにしてください。

傷がつくと絶縁不良や導通不良の原因となります。



圧着結線

①端子のスリーブ部分を圧着工具のメスダイスに挿入し、端子が落ちない程度までハンドルを閉じ端子を保持します。この際、端子のプレス合わせ目方向及びスリーブの長手方向中心部が、工具のオスダイスの中心になるように位置を決めてください。

圧着工具は弊社推奨工具をご使用願います。表1を参照してください。

各端子と適合する工具のダイスサイズは表2を参照してください。

注意！・工具により圧着性能に差が出る恐れがございますので、弊社推奨工具をご使用願います。

・使用する工具のダイスサイズが異なると圧着性能が満足しませんので間違わないようにしてください。

・ダイスを当てる位置が適切でないと圧着性能に影響を与えます。必ず指定の位置にて圧着をお願いします。

②絶縁電線の導体部分を端子に挿入します。

注意！・絶縁電線の被覆端面と端子端面に極力隙間が生じないようにしてください。（隙間：1mm以下）

隙間がありますとショート等の原因となります。

・導体の芯線が端子からはみ出ないようにしてください。はみ出ますとショート等の原因となります。

③成形確認機構が働いてハンドルが自力で開くまで荷重を加え圧着します。

④ハンドルが開いたら、圧着した端子を取り出します。

表1 推奨圧着工具

(JIS C 9711屋内配線用電線接続工具)

工具メーカー	品番
ホーザン(株)	P-75
(株)ロブテックス	AK15A
(株)ニチフ端子工業	NH1

2

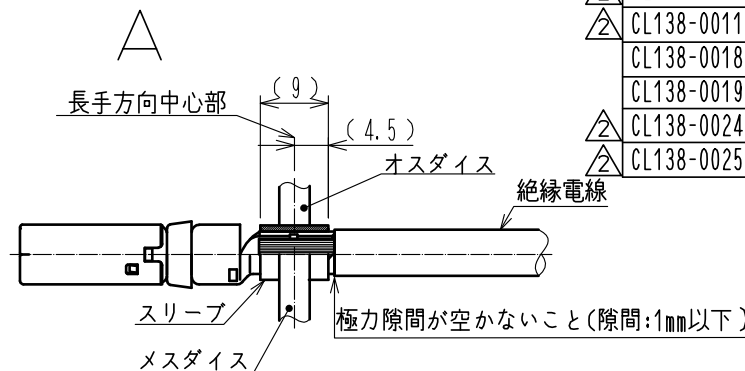
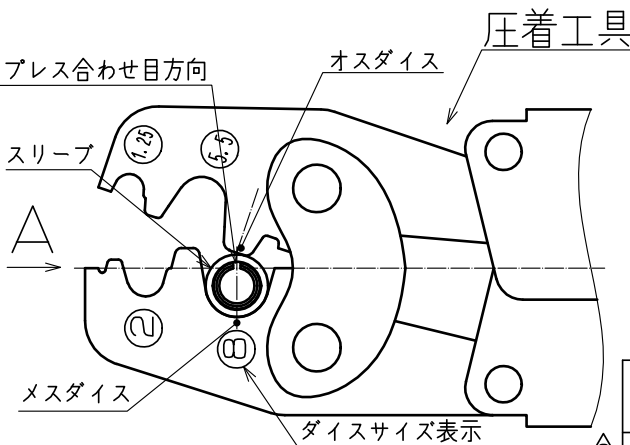
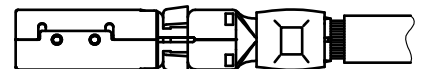


表2 端子と適合ケーブル・ダイスサイズ

HRS番号	端子品名	適合ケーブル サイズ	適合ダイス サイズ
△ CL138-0010-5-01	EM-SC-113(01)	5.26~5.57mm ²	8
△ CL138-0011-8-01	EM-PC-113(01)	5.26~5.57mm ²	8
CL138-0018-7	EM-SC-133	8mm ²	8
CL138-0019-0	EM-PC-133	8mm ²	8
△ CL138-0024-0-01	EM-SC-143(01)	8.44~8.92mm ²	8
△ CL138-0025-2-01	EM-PC-143(01)	8.44~8.92mm ²	8

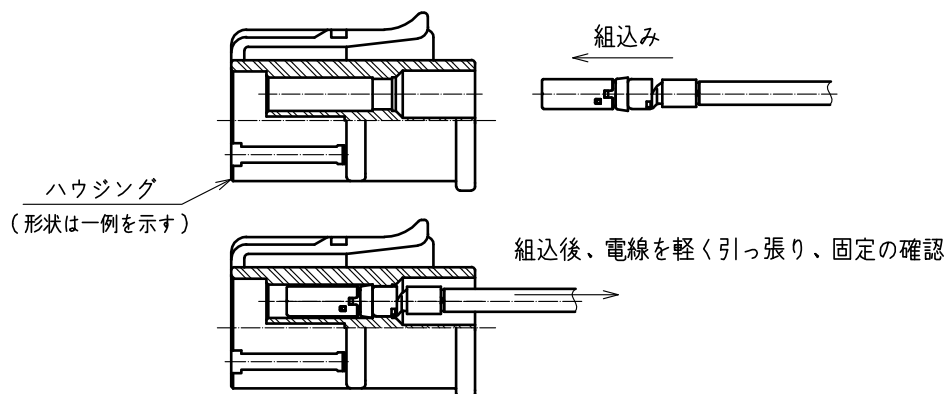
圧着状態図



COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△ 2	DIS-C-00017304	SY. KONDO	TP. KOMATSU	20240326
名称 TITLE			HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.	
EM35M結線手順及び取扱い説明書			APPROVED	SU. OBARA 20110117
			CHECKED	HY. KOBAYASHI 20110117
			CHARGED	HN. TANAKA 20110106
			WRITTEN	HS. NAGANO 20110105
技術指定書 TECHNICAL SPECIFICATION			ATAD-C0222	△ 1 / 6

3

- ①圧着結線した端子をパチンという音を目安にハウジングへ組込みます。
組込後、絶縁電線を軽く引っ張り、端子が確実にハウジングに固定されていることを確認してください。
オス端子も同様にハウジングに固定されていることを確認してください。△
注意！ハウジングに固定されていないと接触不良及び発火する恐れがあります。△

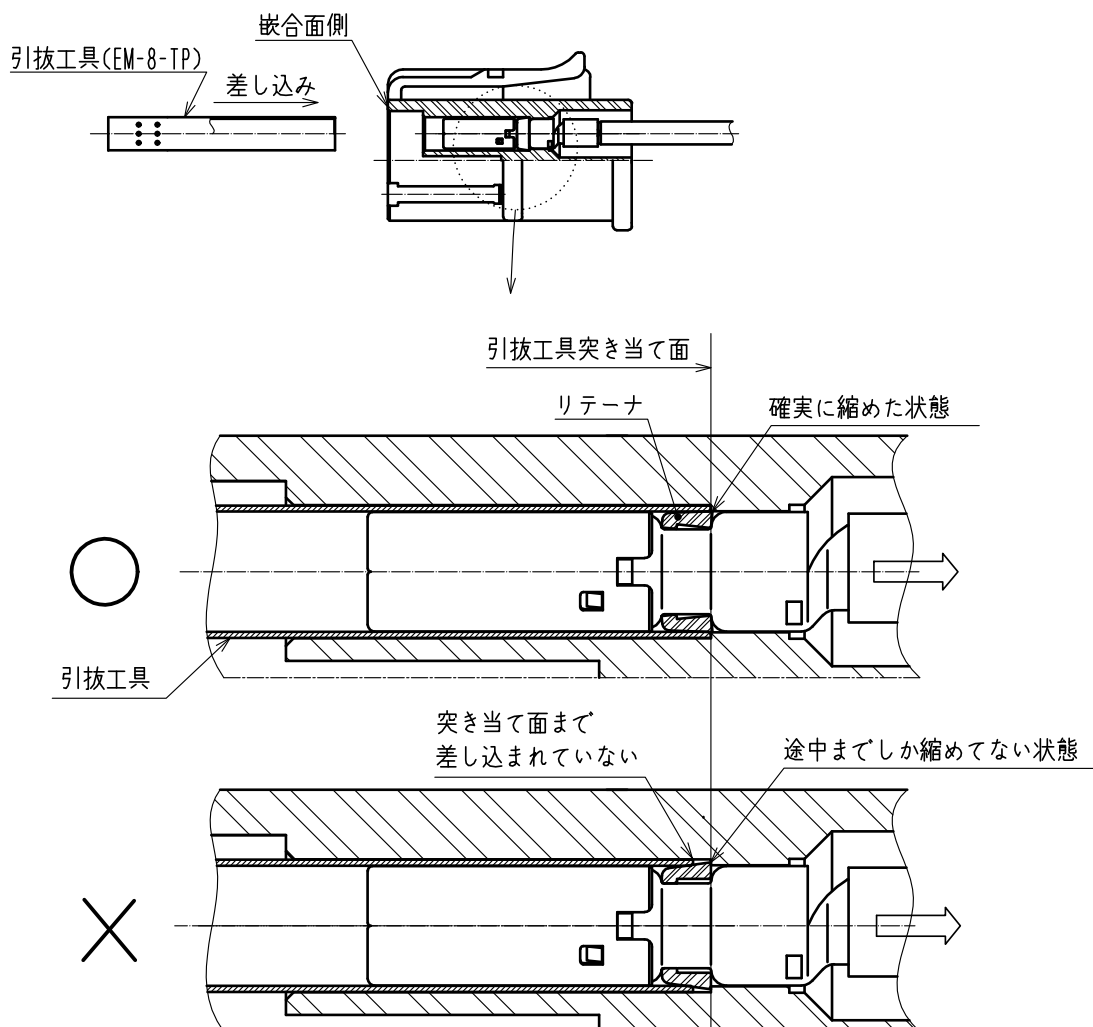


- ②端子組込後、配線の確認を行います。誤配線が生じた場合は、引抜工具で端子を引き抜き修正を行ってください。
適合引抜工具品名：EM-8-TP (CL 150-0249-3)

■引抜工具使用方法

- ①引抜工具をコネクタ嵌合面側より端子穴へ入れ、突き当たるまで差し込みます。
突き当たるまで差し込むことにより、リテーナが内側へ縮まり、固定が解除されます。
②引抜工具を差し込んだ状態で電線を引張り、端子を引き抜きます。
(図は雌端子ですが、雄端子の場合も同様です。)

注意！端子の引抜は、引抜工具にてリテーナを確実に縮めた状態で引抜いてください。
無理に引抜くと断線やリテーナを破損させます。



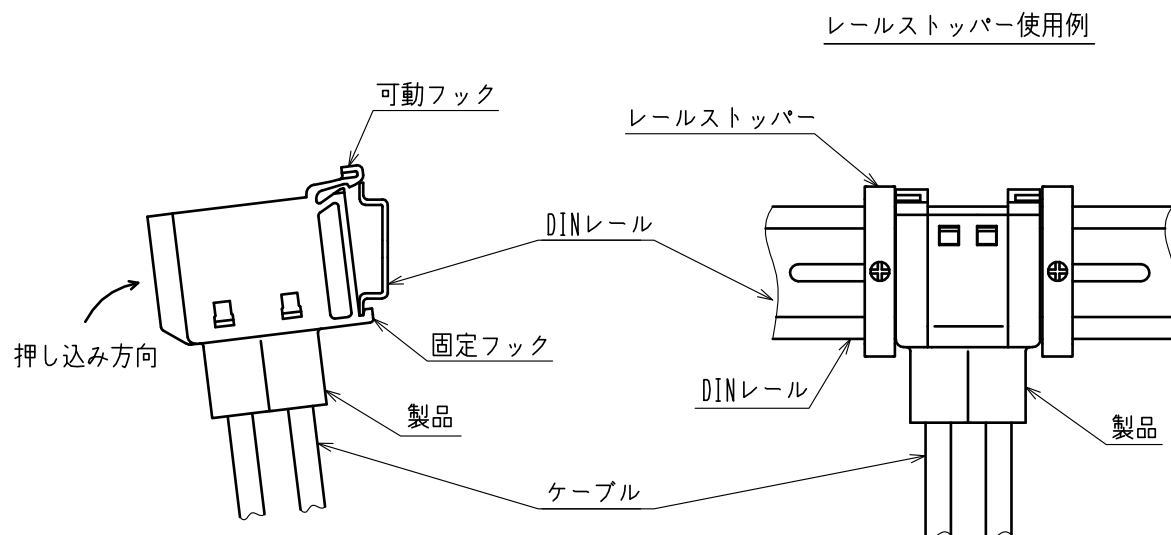
■DINレール取付、取り外し方法

取付方法

①固定フックを引っ掛ける

②可動フックがパチンという固定音がするまで製品を押し込む。

位置を完全に固定したい場合は市販のレールストッパーをご使用下さい。



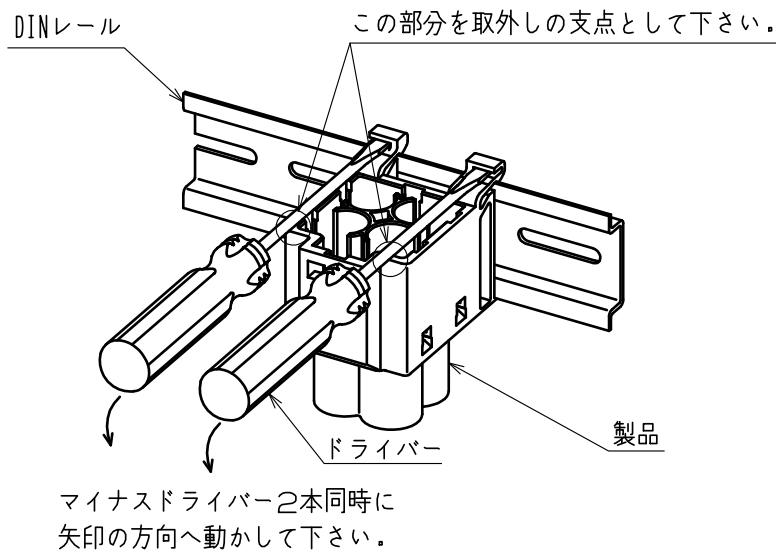
取り外し方法

マイナスドライバー2本を用いて可動フック2箇所を同時に外します。

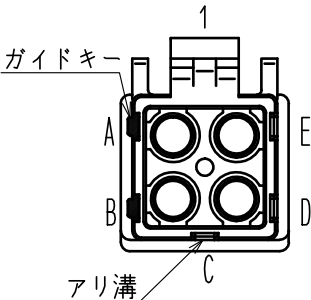
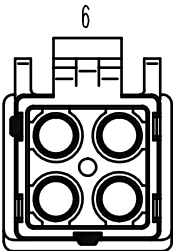
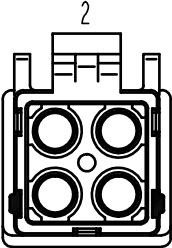
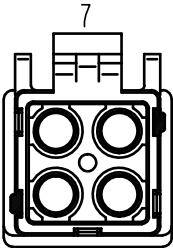
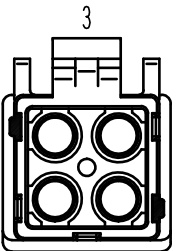
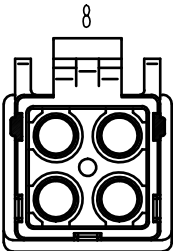
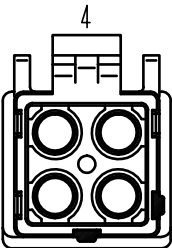
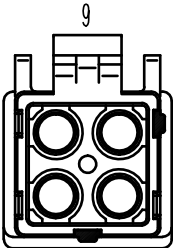
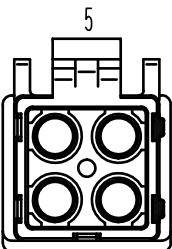
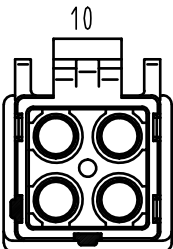
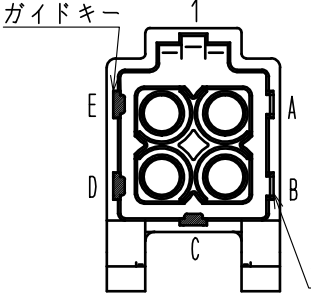
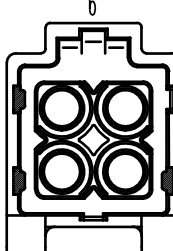
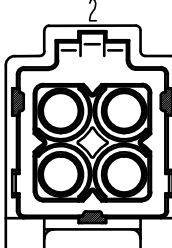
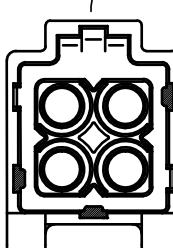
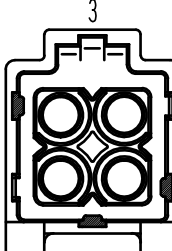
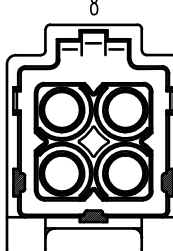
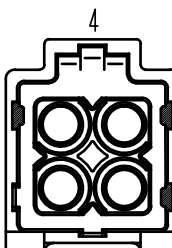
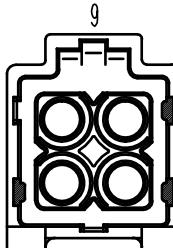
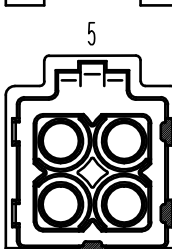
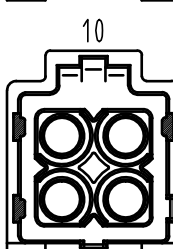
片側ずつでは外せません。

マイナスドライバービットの幅は5.5mm以下のものをご使用下さい。

5.5mm以上の場合、隣接コネクタの可動フックも一緒に引っ掛け破損させる可能性があります。



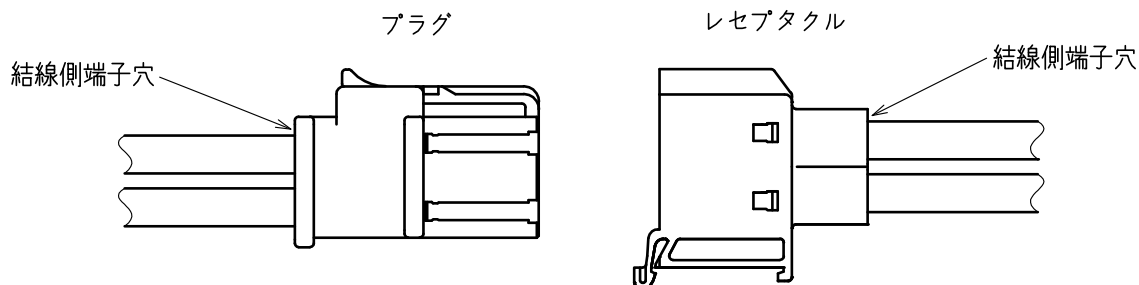
図誤嵌合防止キー 10通り 組合せ表

プラグ側 ガイドキー組込み	レセプタクル側 ガイドキー組込み
         	         

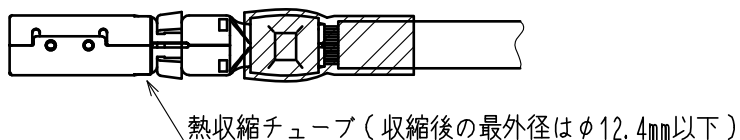
プラグ側は、アリ溝5ヶ所(A～E)のうち、2ヶ所へガイドキーを組込み、
レセプタクル側は、プラグ側と干渉しない、3ヶ所へガイドキーを組込みます。
また、ガイド組込み位置は、プラグ・レセプタクルの対応する番号が嵌合する組合せになります。

■取扱いの注意点

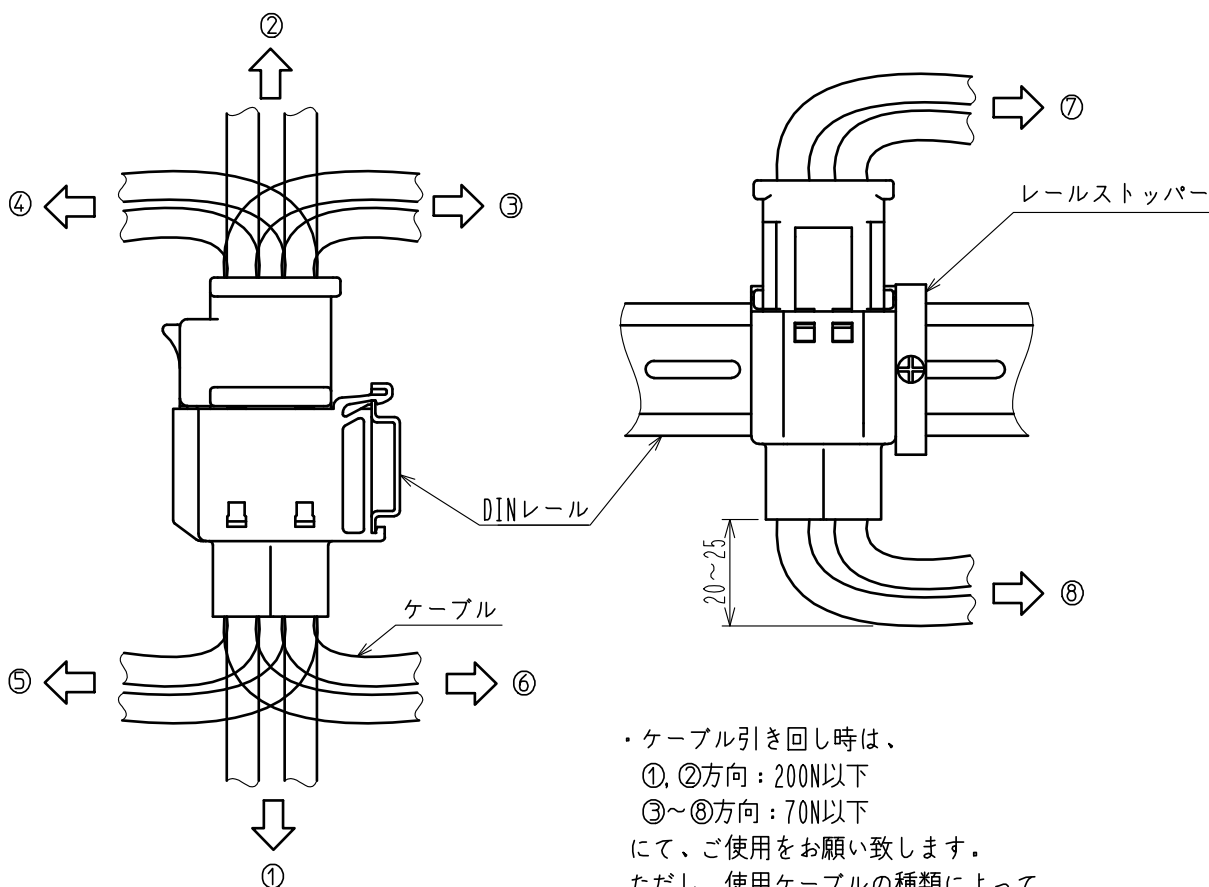
- ・コネクタを抜き差しする際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- ・通電中は危険ですので、絶縁ケースの結線側端子穴には、手を触れないでください。
尚、熱収縮チューブなどで端子圧着部と電線を覆い絶縁してご使用いただくことを推奨いたします。
- ① ケーブルを引き回す際は、コネクタに負荷が掛からないようケーブルを途中で、固定する等の対策を行っていただき、下記のケーブル引張方向図に記載してある負荷以上の力が加わらないようご使用ください。



収縮チューブ取付け例



① ケーブル引張方向図



- ・ケーブル引き回し時は、
①, ②方向：200N以下
③～⑥方向：70N以下
にて、ご使用をお願い致します。
ただし、使用ケーブルの種類によって、
異なる場合がありますので、ご注意願います。